

連

載

健康経営トップランナー企業の取り組み

昨今、健康経営を経営戦略として積極的に取り組む企業が増えてきました。経済産業省などが健康経営を進める企業を顕彰する「健康経営優良法人認定制度」の中小規模法人部門を今年度 23,085 法人が認定を受けました。そのうち上位 500 位までに認定された埼玉県【ブライト 500】の企業の先進的な取り組み事例を連載でご紹介します。

キャリア & ライフサポーターズ株式会社 代表取締役社長 ^{ささお} ^{よしこ} 笹尾 佳子

リクルートから東京電力に転職。関連会社で 20 億円の赤字を抱えていた介護会社を 2 年で V 字回復。中堅ゼネコンで人事役員を経験した後、健康経営コンサルタントの会社を立ち上げる。(法政大学評議員、中小企業診断士、健康経営エキスパートアドバイザー、介護福祉士、キャリアコンサルタント)



第

10 回

高級輸入車販売に求められる品質を支える「社員の健康」

高級輸入車の販売業は、顧客からの要望が非常に高く、細やかな対応力や高い専門性が求められます。その期待に応え続けるためには、社員が心身ともに健康で、活力を持って働ける環境づくりが欠かせません。ホソカワコーポレーションは、こうした考えのもと、ホワイト企業としての体制づくりを進めています。

同社はタイヤ販売から創業し、その後、輸入車のカスタム専門店（顧客の好みに合わせて車を改造し、個性や性能を高める）を経て、高級輸入車の販売へと事業を拡大してきました。現在は国内 14 店舗に加え、中国やドイツにも拠点を持つ企業へと成長しています。

5 年前からは、毎年 1 回の経営方針発表会で健康改善者を表彰する取り組みを始めました。さらに、異業種交流会で健康経営の成果を紹介されたことをきっかけに、3 年前から本格的に健康経営を推進し、2023 年

には健康経営優良法人に認定され、2024 年からは 3 年連続でブライト 500 にも選定されています。

健康経営を始めた背景

車業界には、有機溶剤の使用による健康リスク、長時間労働、喫煙率の高さなど、いわゆる“ブラック”なイメージが残っています。また、高級車を扱うがゆえに顧客からの要望も厳しく、メンタルヘルスへの配慮も必要です。

同社では、単に健康診断を実施するだけでなく、社員の心身の健康を総合的に支えることが顧客満足につながると考えています。社長自身も週 1 回のパーソナルトレーニングを継続して 8 年間、酒やたばこを控えるなど、日頃から健康に強い関心を持っているそうです。

こうした考えから、5 年前より経営方針発表会で永年勤続表彰とあわせて「健康診断の数値が改善した社員」を表彰し、改善の理由を共有する取り組みを始めました。また、パンやパスタなどの軽食に偏りがちな食生活を改善するため、社員の誕生日に 5kg の米を贈る取り組みも行っています。これらの施策により、社員の健康意識が自然と高まっていくのを感じたそうです。

そして 3 年前、異業種交流会で健康経営の効果を知り、より科学的なアプローチで社員の健康を支えたいと考え、本格的な健康経営の導入に踏み切りました。

Company Profile

株式会社ホソカワコーポレーション

■住所：埼玉県さいたま市桜区

■創業：1949 年

■代表者名：細川恵多

■従業員数：160 名

■事業内容：

高級輸入車（メルセデス、BMW、アウディ、ランボルギーニ等）の販売・整備・カスタム

■売上：184 億 8000 万円（2025 年度）

<https://www.hosokawa.co.jp/>



細川社長



株式会社ホソカワコーポレーション ショールーム



メールマガジン



取り組み事例とその成果

同社は、若手社員を中心に喫煙率が高いことや、メンタル不調の傾向が見られることを健康課題としてとらえています。これに対し、年2回の保健師による健康面談を実施し、個々の健康課題に応じた改善支援を行っています。面談では喫煙リスクを丁寧に伝えるとともに、日常的な水分摂取や定期的な運動習慣の定着を促すアドバイスを行っています。

また、社員が日常的に健康を意識できるよう、毎週の健康情報メルマガの配信や、毎月の保健師によるオンラインセミナーも継続して実施しています。さらに、2025年度からは健康診断数字データをもとに「優秀店舗賞」や「健康改善度賞」を設けた『健康改善表彰式』を大々的に行い、全社的な健康意識の向上につなげています。

その結果、ヘルスチェックアンケートによるヘルスリテラシー指数の「食に関する意識」が40%から60%へ、「運動に関する意識」が35%から42%へと向上し、従業員の行動変容が確認できました。また、現在年間休日数は120日であり、オンとオフのメリハリを



健康改善表彰式

つけて働く人が増えた結果、「残業が減った」と感じる社員が増え、職場環境も改善されています。

喫煙率は3年前の60%から43.7%へと大幅に改善し、2026年度には30%まで下げることが目標としています。今後は、健康診断後の二次検診の受診状況の把握や、女性の健康支援にも力を入れていく方針です。

取材を終えて

社長自身が酒やたばこを控え、週1回のパーソナルトレーニングを継続するなど、健康を強く意識していることが、会社全体の健康経営推進の原動力になっていると感じました。車業界に残る“ブラック”なイメージを払拭し、高級輸入車を扱う企業として、社員が心身ともに元気で働ける環境づくりを進める姿勢は非常に印象的です。

特に、年2回の保健師面談による個別支援や、YouTubeで公開している「健康改善表彰式」など、社員全員が健康を意識する仕組みづくりは高く評価できます。長年の取り組みの結果、特に離職率は昨年度5.7%に減少されていることが素晴らしいと感じました。また、多くの企業にとって喫煙率の低下は難易度の高いテーマですが、確実に低下しており、今後のさらなる推進が期待されます。ホソカワコーポレーションが業界を牽引し、健康経営のロールモデルとして成長していく姿が楽しみです。